

◇社会政策学会誌執筆要領

1. 投稿原稿は、原則として、ワープロまたはパソコンで作成し、縦置ききのA4版用紙に横書きで、全角40字×40行で印字する。その分量（改行時の空白を含む。ただし、空白行は含まない）は、原則として以下のとおりとする。
 - ① 研究論文は、図表、注、引用文献等を含み、16,000字（40字×400行）以上20,000字（40字×500行）以内とする。
 - ② 研究ノートは、図表、注、引用文献等を含み、8,000字（40字×200行）以上12,000字（40字×300行）以内とする。
 - ③ 研究動向紹介、政策動向紹介、史資料解題は、図表、注、引用文献等を含み、8,000字（40字×200行）以上12,000字（40字×300行）以内とする。
 - ④ 特集企画論文、書評ならびに書評リプライの字数については、編集委員会からの依頼条件による。
2. 原稿字数を計算する際、図表は便宜上、以下の3段階で換算する。
A4版で1頁相当の場合は1,600字、1/2頁相当の場合は800字、1/4頁相当の場合は400字にそれぞれ換算する。
3. 原稿に利用したデータや事例等については、プライバシーの侵害がなされないよう、細心の注意を払う。また、研究倫理に照らし必要な手続きを経ていることを、本文または注に明記する。
4. 投稿に際しては、原稿本文を4部印字し、それぞれに以下のように3枚の表紙をつける。なお、査読審査結果に基づき修正した原稿を再提出する場合も同様とする。
 - ① 表紙1枚目
 - ① 原稿の種類、②原稿字数、③表題、④著者名・ふりがな・所属（共著の場合は全員記載）、⑤連絡先（住所・電話・FAX・E-mail。共著の場合は、筆頭著者のみ）を記載。
 - ② 表紙2枚目
無記名で、和文表題、和文抄録（400字以内）、和文キーワード（5語以内）を記載。
 - ③ 表紙3枚目
無記名で、英文表題、英文抄録（200語以内）、英文キーワード（5語以内）を記載。
5. 投稿論文の査読は著者名を匿名にして行うため、文献等の表記の際には、本人の著であっても「筆者」「拙著」とせず、著者名による表記とする。
6. 査読による修正の要請があった場合には、論文の修正箇所を明示し、どのように対応したか、その概要を文書化して提出する。
7. 原稿の書式は、以下のとおりである。
 - ① 注・引用文献等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで印字する。なお、英数字は原則として半角とする。
 - ② 原稿は、無記名で、「本文、注、引用文献、図表等」の順に記載する。
 - ③ 各頁の下中央部に、頁番号を印字する。
 - ④ 「口語体」「常用漢字を用いた新かなづかい」による執筆を原則とする。
 - ⑤ 論文の構成
 - * 節 1・2・3…(数字の前後に「第」「節」は付さない)
 - * 小見出し (1)・(2)・(3)…
 - * 以下は、(a)・(b)・(c)…
 - * 本文中の箇条書きなどは、①・②・③…を用いる。また、見出し中の副題はコロン[:]でつなげる。
 - ⑥ 年号は西暦表記を基本とする。和暦を併記する場合は、1987(昭和62)年とする。ただし、必要に応じて「昭和50年代」などの和暦表記を用いる。
 - ⑦ 数の量などを表す数字の表記は、単位語(兆、億、万)を付ける。カンマは入れない。

例：12億 8600 万人， 15 兆 300 億円

幅のある数字を記す場合は，上位のケタの数を省略しない(ただし，年代はこの限りではない)。

例：130～150 万(130～50 万とはしない)，1970～80 年。

- ⑧ 図表は本文とは別に添付し，挿入箇所を原稿の右の余白部分に指示する。図表番号は[図 1]，[図 2]，[表 1]，[表 2]のように示し，通し番号とする。出典は，必ず明記する。
必要に応じて原著者または著作権所有者から使用許可を得る。
- ⑨ 注は本文中の該当箇所に，(1)(2)・・・の肩番号を付し，本文のあとに番号順に記す。

8. 引用文献の記載方法は，以下のとおりである。

① 本文中の引用箇所の場合

- 1) 引用部分の文末に，[]を用いて示す。[]内は著者名(姓のみ，ただし同年刊行・同姓の場合には姓名両方)・カンマ(,)・西暦発行年の順で示す。
- 2) 引用文献が複数ある場合には，セミコロン[;]で区切って併記する。
- 3) 著者が複数の場合には，[筆頭著者名(姓のみ)ほか，発行年]，または[筆頭著者名 et al.，発行年]とする。
- 4) 同年に発行された同一著者の文献が複数ある場合には，発行年の後にアルファベットを付して区別する。
- 5) 翻訳本出版年が原著出版年と異なる場合は，(著者名(姓のみ)，原著出版年＝翻訳本出版年)とする。

② 文献のリストの場合

1) 雑誌論文の場合の標記

著者名，西暦刊行年，「論文表題および副題」『掲載雑誌名』巻(号)：頁-頁。〔欧文の場合：著者名，西暦刊行年，“論文表題および副題，”掲載雑誌名(アンダーライン)，巻(号)：頁-頁。〕

2) 著書の場合の標記

- a. 単著・共著の場合 著者名，西暦刊行年，『書名』出版社または発行所名。〔欧文の場合：著者名，西暦刊行年，書名(アンダーライン)，出版社または発行所名。〕
- b. 編書に収録された論文の場合 著者名，西暦刊行年，「論文表題および副題」編者名編『書名』出版社または発行所名，頁-頁。〔欧文の場合：著者名，西暦刊行年，“論文表題および副題，” in 編者名(ed)，書名(アンダーライン)，出版社または発行所名，頁-頁。〕

3) 編書の場合

編者名編，西暦刊行年，『書名』出版社または発行所名，頁-頁。〔欧文の場合：編者名(ed)，西暦刊行年，書名(アンダーライン)，出版社または発行所名，頁-頁。〕

4) ウェブサイトからの引用の場合の表記

著者名，公表年または最新の更新年，当該情報のタイトル，URLのあとに，引用のためのアクセス年月日を掲載する。

5) その他

- a. 日本語・外国語の文献を分けずに，筆頭著者名[姓]のアルファベット順に記載する。
- b. 著者が複数の場合，日本語では中点(・)，英語ではカンマ(,)でつなぎ，全員を記す。ただし，英語で，著者が2名から4名までの場合，最後の著者とその前の著者の間は，カンマでなく and でつなぎ。著者が5名以上の場合，5人目以降の著者名は省略し，ほか(日本語)あるいは et al. (英語)と記す。
- c. 外国語文献の場合，著者名は，ファミリーネームを先にし，カンマでファーストネーム等を続ける。ただし，2人目以降の著者名については，ファーストネームを先にし，ファミリーネームを後に記す。表記は原則として，原書大扉の表記に従う(ファーストネームおよびミドルネームはイニシャル表記の場合もある)。
- d. 大学紀要や研究機関紀要は誌名の後に機関名を表記する。
- e. 巻号の表記は「第12巻第1号」であっても12(1)と表記する。
- f. 英文の場合，名詞等の単語の始まりの1文字を除いては小文字で表記する。
- g. シリーズ名等は，書名のあとに丸カッコ内に示す(『書名(シリーズ名)』)。
- h. 日本語・英語以外の言語の場合，著者の責任で，適切な表記を行う。

【付則】

1. この要領は，2010年6月19日より施行する。

制定2007年6月20日

一部改正2009年1月30日

一部改正2010年6月19日

一部改正2016年2月27日